



## 主な内容

萩市ゆかりの作家 大和義男 .....	P3
萩ゆかりの店 ラ・プラージュ(大阪市) 林正人 .....	P5
夢追人 榎取家五代当主 榎取能彦(東京都) .....	P7
旭サンファーム副代表 河村直丈(萩市) .....	P8
株式会社レノファ山口 河村孝(山口市) .....	P9
明治日本の産業革命遺産と萩 構成資産(5)大板山たたら製鉄遺跡	P10

ここからの眺めはパールハーバーに似ているという。北は、近くに六島が点々と浮かび、遙かな水平線に見島が煙ぶる。西方には、青海島が遠くにかすみ、南に目を転ずれば城址指月山と菊ヶ浜が続く。東面は眼下の漁家のせまい家並みが、北の荒波と南の夕瀬湾を分断して山陰路に連なる。それに向って下山すると天然水族館・明神池がある。

「美しき城下町・萩」(昭和48年発行)から

第131号 2016年9月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

笠山山頂から

大和義男 画伯



# 旧明倫小校舎が 「萩・明倫学舎」として 来年3月4日オープン

明治維新の原動力となり、萩藩の教育や人材育成の中枢を担ったのが、藩校明倫館です。その藩校明倫館の跡地に立地し、1935年（昭和10年）の建築以来2014年まで80年間、授業が行われていた旧明倫小学校校舎4棟（本館は、国の登録有形文化財）を保存整備し、新たな秋観光の起点として「萩・明倫学舎」がオープンします。全4棟のうち、本館と2号館が先行してオープンし、萩の世界遺産や貴重な幕末史料等を展示・紹介します。

## ■藩校から明倫小までの300年の歴史に触れる

本館1階は、「萩まちじゅう博物館インフォメーションセンター」、萩産の食材や特産品を扱う飲食および物販スペース、ミュージカルの上演も行われる「多目的復元教室」です。

2階は、藩校明倫館の歴史を分かりやすく紹介する「藩校明倫館展示室」をはじめ、映画やテレビのロケ地にもなった校舎の歴史を伝える「明倫小学校展示室」や「復元教室」、国の登録有形文化財である本館の特徴的な建築構造を紹介する「天井裏見学室」、萩のジオパークの見どころを紹介する「ジオパークセンター」を設けます。

## ■世界遺産ビクターセンターと幕末ミュージアム

2号館の東側1・2階は、「萩・世界遺産ビクターセンター学舎」の展示資料を移し、新たに体験コーナーなどを加え、2015年7月に世界遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」の萩市の5つ



本館の改修工事（8月末）

の資産等を紹介いたします。

西側1・2階は、下関市在住の小川忠文さん（76歳）が2014年萩市に寄贈した3000点余りの幕末史料（小川コレクション）から、軍事、天文、地理、医学、科学などの分野別に、日本や萩藩における在来技術から近代技術への発展の歩みを紹介します。

## 幕末ミュージアムの展示品



天球儀



うちわで作られた扇風器



象限儀

## 「幕末ミュージアム」のプレ展示として 10月から萩博物館で企画展

来年3月にオープンする「萩・明倫学舎」の2号館「幕末ミュージアム」で展示される小川コレクションの逸品の数々が、萩博物館において一般に初公開されます。

10月8日から開催される萩博物館の秋期企画展「江戸時代の科学と技術」は、萩市に寄贈された小川忠文さんの収集資料（小川是苦集「コレクション」）の中から、天文・医学・機巧に関する器物資料を中心に展示

し、江戸時代の科学と技術の一端を紹介します。

### ■展示構成

「東洋と西洋」江戸時代、日本は本場に「鎖国」だったのでしょうか？  
 「天地を知る」江戸時代、人々は星を見て何を考えたのでしょうか？  
 「身体を治す」江戸時代、病はどのように治療されていたのでしょうか？  
 「モノを作る」江戸時代、人々

- 開館日 2017年（平成29）3月4日（土）
- 開館時間 午前9時～午後5時（飲食スペースは午前11時～午後9時）
- 入場料 ・本館 無料
- ・2号館 大人300円、高校生200円 小・中学生100円（団体割引有）
- 駐車場 萩・明倫センター 普通車 310円（1回）
- 問い合わせ 萩市企画政策課 (08388-253117)

をあとと驚かせた匠の技があった！  
 「蒸気車模型」江戸時代、萩城内を蒸気機関車の模型が走った！

○会期 10月8日（土）～12月4日（日）



美術を通して、人を育てたい

大和義男先生は、明治40年(1907)に萩市土原十日市筋で生まれ、平成4年(1992)に84歳で永眠、カトリック教会で葬儀が営まれた(洗礼名はパウロ大和)。亡くなって2年目の平成6年4月に萩市民館で「遺作展」が萩美術協会(当時会長は横山繁)により行われた。それ以来12年ぶりの回顧展が、9月に開催される。

大和先生は、15年戦争が始まった昭和6年(1931)に東京美術学校(現東京芸術大学)を卒業、光風会、創元会、二科展、新文展(現日展)などに入選された。昭和18年(1943)に召集を受け中国へ、留守中に東京のアトリエが空襲の被害に会うも、21年に無事復員された。

25年に第一中学校に奉職。その後、昭和37年(1962)から54年(1979)まで18年間、萩光塩学院の美術教師を勤められた。その傍ら、萩美術協会会長や萩市文化財審議会員などでも活躍された。

■聖地巡礼の旅から

昭和40年(1965)に初めて欧州・中近東へ行った写生旅行のことを、59年に山口新聞に寄稿している。

「中東動乱の合間を縫って聖地巡礼の旅に参加。レバノンの首都ベイルート、シリアの首都ダマスカス、ヨルダンの首都アンマン、イスラエルの占領下にあるエルサレムに一週間滞在した。現在もはてしなく続くレバノン動乱と大量虐殺。にもかかわらず、エルサレ

ムも、キリストの生誕地ベトレヘムも、世界一古い都のダマスカスも、古い港町ベイルートにしても、いずれも何と美しい町であることが。恐ろしく、それは人々の生活も建物も千年二千年の昔からほとんど変わらず、十字架にかけられたキリストがいま生きてエルサレムの街角で宣教していたとしても少しも目立たない存在だろうと思われからであるか。」(画文集から)

■純粋な芸術家 無頓着で自由

この文が収められた「大和義男画文集その二」(昭和63年)には、三輪休雪さん(当時龍作)が、Y先生と題して寄稿している。

「僕は小学4年のころからY先生の所へ絵を習いに行かされた。Y先生は東京上野の美校出で、油絵を描いておられ中学校の絵の教師もしておられた。当時は萩市内の絵の教師の活動も活発で、その中でも先生は、中心的な役を果たさ

れていた。僕が中学に入ると担任はY先生であった。Y先生は全然ものにこだわらない純粋な芸術家タイプであったので、学校の多くの教師の中ではちよっと異なった存在に見えた。Y先生は無頓着で自由である。」

今年夏、休雪さんに大和先生の思い出を聞いた。

「当時は自転車時代のふっと見たら、軒下でイーゼルを立てて絵を描いている先生の姿をあとちでよく見かけた。いつも画用紙と絵具箱を持った浅黒い顔の先生の姿が浮かぶ。絵の具がついた服で、背広を着た人よりも一番カッコイイと思った。絵が好きで、描きたくて描きたくてしょうがない本当の絵描きだと思った。『絵を描かない奴は絵描きじゃない』は文学・陶芸など全ての芸術にいえる、今もって心に残っている至言。」

大和先生の次女、止原美和子さんにも話を聞いた。

「父は、清純な人、欲のない人、人のために何がする人が好きで、特に心が清く神様に仕える、光塩学院のシスターが大好きでした。陶芸家として活躍している孫の止原理美さん

も「日常生活には無頓着な人でスケッチに出かけるのが好きでした。車で外に連れて行ったお礼の気持ちで、光塩の近くの東奉によく牛肉を食べにいったことを覚えています。」

萩市美術展特別展「大和義男展」  
9月15日(木)～19日(月・祝)  
午前10時～午後6時  
萩市民館小ホール 入場無料



エジプト(1968年)



光塩学院の聖母マリア像



# 萩が舞台、夫婦愛の映画 「八重子のハミング」

## 10月29日から山口県内先行 ロードショー、来春全国公開

### 萩で完成披露試写会

萩市など山口県内でロケが行われた映画「八重子のハミング」の完成披露試写会が、8月5日に萩ツインシネマで行われ、制作を支援した実行委員会の関係者など約130人が集まりました。

映画は、金谷正満宮司司で、元萩市教育長の陽信孝さん（萩高校昭和32年卒）の実体験を描いたもので、自らが手術を乗り越え、若年性アルツハイマー病の妻を介護した12年間が描かれています。



舞台あいさつの陽信孝さん(左)と佐々部清監督

舞台あいさつで、佐々部清監督は「命がけで取り組んだ作品で、夫婦の純愛と家族の愛情に溢れた物語です」。陽さんは「ご支援をいただいた多くの方に感謝します」とあいさつしました。

### 佐々部監督の執念が実る

「キネマ旬報」7月下旬号「みんなが観たい、いい映画」から

映画は、4度のがん手術から生還した夫が、若年性アルツハイマー病の妻を介護した4000日の記録を綴った「八重子のハミング」（陽信孝著／小学館刊）が原作で、アルツハイマーに侵された妻とガンを宣告された夫の、12年間にわたる夫婦愛を描くと同時に、老老介護という社会問題を世に問うもの。これは佐々部監督が以前から温めてきた企画で、メジャーの映画会社ではなかなか実現できず、自らがプロデューサーとなって製作費を集め、自主的映画として成立させた。

出演は妻の八重子役に、「旅の

### ■上映予定

山口県内先行ロードショー

- 10月29日（土）～
    - ▷萩ツインシネマ 0838-26-6705
    - ▷シネマサンシャイン下関 083-235-3001
    - ▷宇部シネマスクエア7 0836-37-2525
    - ▷シネマ・ヌーヴェル（周南）0834-21-2525
  - 11月12日（土）～
    - ▷MOVIX周南 0833-45-2600
    - ▷イオンシネマ防府 0835-22-9066
- 2017年春から東京・大阪ほか全国順次公開予定  
▷有楽町スバル座（東京）03-3212-2826

※上映時間および詳細、特別鑑賞券1,400円に関しては、各劇場にお問い合わせください。  
※上映館の最新情報は「八重子のハミング」公式ホームページ>劇場案内をご覧ください。

重さ」（72年）、「サンダカン八番娼館 望郷」（74年）、「雨が好き」（83年）の高橋洋子、29年ぶりのスクリーンに復帰する。夫の誠吾役に升毅、ほかに梅沢富美男、文音、井上順、朝加真由美らが共演。

撮影は佐々部監督の故郷・山口県下関市、萩市などで今年3月に行われた。公開は今年10月末から山口県での先行を皮切りに、2017年に全国で順次公開予定。

「ツレがウツになりまして。」（11年）、「東京難民」（14年）など、きびしい現実の中で懸命に生きる人物を温かく見つめてきた佐々部清監督が、このテーマをどう描く

のか。

佐々部監督の「命をかけて映画を作ります」と初めて公言した」という言葉に、この映画に懸ける並々ならぬ想いの深さが窺える。心して公開を待ちたい。



いつか来る夫婦の別れ。ゆっくりと二人で歩む“ありがとう”の人生



萩ロケでの1コマ、右は娘役の文章さん

- ▽監督・脚本 佐々部清
- ▽劇中曲 谷村新司「いい日旅立ち」<sup>すばる</sup>「昇
- ▽スチール 下瀬信雄
- ▽時間 1時間52分

# 萩ゆかりの店

## 大阪谷町の 「パティスリー・ラ・プラージュ」

本物のフランス菓子の店

# Pâtisserie La plage

フランス菓子の伝統を守りながら、確かな技術と材料を生かした心温まるパティスリー(ケーキや洋菓子)をお届けするお店が大阪市谷町にあります。

店内には色とりどりのフランス菓子や焼き菓子が並び、目を惹きつけられます。オープンして12年目となり、手作りにこだわった「ラ・プラージュ」のスイーツには多くのファンがいます。なかでもチョコレートのエクレアがイチバン人気です。フランス、バローナ社のエクストラ・ビター(最高級のチョコレート)を使用したエクレアです。

パリジャンの愛する本物のフランス菓子を作るオーナーシェフは、萩市出身の林正人さん(昭和38年生まれ、53歳。土原出身で明倫小、萩第一中学校、奈古高校卒)。

東京銀座「パティスリールドレカン」、赤坂「マエストロポールボキューズ」を



イチバン人気! エクレア(230円)



を経て渡仏、レストランやパティスリーで3年半修業後に帰国。東京恵比寿「タイユパン ロブション」シェフ、パティスエに。2004年8月、大阪谷町に「ラ・プラージュ」をオープンしました。

林さんからのメッセージ「変に日本人に合わせずに、フランスの味をできるだけそのまま日本で再現しました。本物のフランス菓子の深い味わいをお楽しみください。」

住所: 大阪市中央区北新町3-7  
1F(地下鉄谷町線・谷町四丁目4番出口から徒歩5分)

営業時間: 午前10時~午後7時  
定休日: 毎週月曜日

☎06・6949・3938

## 福岡市の須郷昌徳さんが平和について考える「Isseki」創刊



福岡市在任の司法書士、須郷昌徳さん(萩市小川出身、萩高昭和34年卒、75歳)が発行責任者となり、平和論議に「一石」を投じようと冊子「Isseki」を今年6月創刊しました(年2回発行予定)。

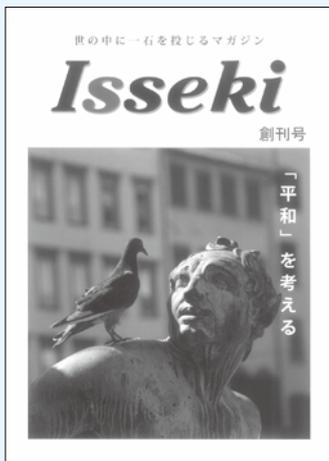
戦争で父を亡くした須郷さんは、創刊にあたって「今こそ平和が叫ばなければならない時に、日本では平和の無力さをあげつらう権力者の論調だけがまん延している」という危機感から、政界の第一線で活躍した人や財界人に寄稿を依頼しました。

福岡大学非常勤講師の須郷さんは「今こそ世界人権宣言の精神を取り戻そう」と題して、「父は教員でした。学徒動員の生徒たちを引き連れて、下松市の日立笠戸工場に赴いていたときに亡くなりました。死因は栄養失調と聞いています。・幼いながらに私は戦争を憎みました。(略)平和とは状態概念ではない、と私は考えます。平和はそれを常に意識して、創りだそうとする実践の結果であるのです。平和のためになすことは、こうした精神を訴え続けていくことであると思います」と述べています。

冊子はB5版、12ページ、300円。次号(年内発行)に向けて準備中。

問い合わせは、須郷昌徳さん(福岡市中央区舞鶴3-1-30、☎092・721・1600)

元自民党衆議院議員の古賀誠氏は「世界に誇りうる日本国憲法を守るべきは平和」、元公明党衆議院議員の東順治氏は「平和を創り続ける国に唯一の被爆国として」のタイトルで寄稿しています。



創刊号「平和」を考える

## 松陰の甥・楢取道明の殉職地

昨年放送されたNHK大河ドラマ「花燃ゆ」は、台湾においても今年2月から4月に放送されました。ドラマの準主役・楢取素彦（初代群馬県令）の次男で、吉田松陰の甥にあたる楢取道明は、1895年（明治28）台湾における近代教育の先駆けとなるべく台湾に渡り、台北市内に開校した芝山巖学堂に赴任し、松下村塾を理想とした教育に情熱を傾けました。翌96年に抗日派の住民に襲われ、同僚の日本人教育者5人とともに、現在の台北市士林区において志半ばにして殉職しました。

その後、道明を含む殉職した6人の教師は、「六氏先生」と呼ばれ、彼らの台湾での教育にかけた6人の情熱は「芝山巖精神」として語り継がれるようになりました。

教育に身を命を賭した楢取道明の熱い志を顕彰するため、萩市では

2014年（平成26）11月に

視察団を派遣し、教育の聖地である芝山巖の墓地、記念碑へ献花し、台北市士林区を表敬訪問しました。この台湾訪問への答礼として、楢取道明没後120年に当たる今年7月31日から8月3日まで、台北市士林区から区長をはじめとする5人の友好交流訪問団が萩市を訪れました。

江慶輝・士林区長は「互いに教育のまち、観光のまちとして友好関係が深まることを願っています」とあいさつしました。士林区は台北市の北側12区のうち最も大きく（62km<sup>2</sup>）、人口は29万人。故宮博物院や陽明山、士林官邸など多くの観光名所があり、士林夜市は台湾を代表する観光夜市として有名で多くの外国人観光客が訪れます。



士林区にある六氏先生の墓所（楢取能彦さん提供）  
〔左から〕関口長太郎（愛知県）、平井数馬（熊本県）、楢取道明（山口県）、井原順之助（山口県）、桂金太郎（東京都）、中島長吉（群馬県）

▷東光寺境内にある「六氏先生追慕之碑」「道明の墓碑」にて士林区友好交流訪問団



## 萩出身の川村孫兵衛重吉翁が400年前に北上川大改修

萩市出身で宮城県石巻市の開祖と称される川村孫兵衛重吉翁が、東北一の大川である北上川の大幅修工事に着手してから400年の記念すべき節目の年に当たる今年4月8日、萩市と石巻市の友好交流の発展を図るため、「友好都市提携に関する協定を締結しました。協定の締結に伴い、7月31日、8月1日に開催される「川村孫兵衛重吉を顕彰する「石巻川開き祭り」へ招待を受け、野村萩市長、西島萩市議会議長ほか11人が石巻市を訪

問しました。

江戸時代はじめ、毛利家家臣の川村孫兵衛重吉翁は、伊達家に土木技術の才を見込まれ、北上川の改修や石巻の築港を手がけ、北上川流域からの米の輸送を可能とし、江戸への搬送路を確保しました。その結果、伊達藩にも農民にも多大な経済効果をもたらす、石巻発展に大きな貢献をしました。

野村市長は「3・11東北大地震から5年という時期に訪問し、現在の石巻の基礎を築いた萩出身の先人の偉業に対して、400年経た今なお地元では「報恩感謝」の行事が継続して開催されていることに心を打たれた」と語りました。



石巻川開き祭り



ひよりやま 日和山公園の「川村孫兵衛銅像」にて萩市訪問団

かとり よしひこ  
楫取 能彦 さん

(東京都在住、70歳)

台湾で殉職した曾祖父道明



萩市による先祖二代続いての顕彰

私は大河ドラマ「花燃ゆ」で話題になった楫取素彦の玄孫で、家名を小田村から楫取に改めた素彦から数えて五代目になる。「花燃ゆ」にも登場した素彦の次男久米次郎(道明)は私の曾祖父である。萩市には平成24年の萩博物館に

おける特別展「楫取素彦と幕末・明治の群像」をはじめ多面的に素彦の顕彰活動を展開していただいたが、今度は道明の顕彰に取り組んでくださるのとのことである。先祖二代続いての顕彰には恐縮するばかりである。素彦も幕末の志士や明治の元勳たちの陰に隠れた存在であったが、さらに無名の道明とは何者であろうか。6歳で久坂

玄瑞の養子になるが、玄瑞の死後玄瑞の妻子が現れたため、あとを譲り楫取家に復籍する。その後司法省、農商務省、宮内省などに勤めるが、明治28年6月日本領土になつたばかりの台湾に学務官僚として赴き、初めての日本語伝習学校芝山巖学堂の教師になる。

楫取道明、芝山巖事件で非業の死

しかしながら道明は、台湾に渡つてからわずか半年の明治29年元旦、勤務地台北北郊の士林に位置する芝山巖に於いて抗日ゲリラにより5人の同僚教師と共に惨殺されたのである。これが芝山巖事件である。殉職した6人の教師は六氏先生として祀られ、日本統治下の台湾教育界の象徴的存在になり、芝山巖は教育の聖地とされた。道明のお墓は萩市の名刹東光寺にある。私が道明の墓参りに初めて行ったのは昭和43年、大学3年生の時であった。その時東光寺のあまりにも立派な様子に大変驚いた。東京から両親と共に行った旅だったが、その時父から「道明さんが台湾で非業の死を遂げなければこんな立派な毛利家の菩提寺に弔われることはなかったのだよ」と教えられた。

芝山巖を訪ねる

父松若は祖父道明が没した芝山



「学務官僚遭難之碑」と楫取さん

巖のことをずっと気にかけていて、一度は台湾を訪問してみたいと思っていたのだが、ついにそれは叶わず平成10年に死去した。父の思いを受け継いだ私は、ようやく平成24年2月に芝山巖を訪れた。戦後の国民党政権下、六氏先生を祀ったお墓は破壊され、伊藤博文初代首相が揮毫した「学務官僚遭難之碑」は横倒しにされ放置されていた。しかし私が訪れる17年前の平成7年にお墓は再建された。台湾が国民党独裁から民主化され、芝山巖学堂をもって創立校とする士林小学の校友会(同窓会)が担った事業であった。学務官僚遭難之碑はその5年後新たに台座が設置され立派に建て直された。これは公の台北市の事業として行われた。戦前の台湾において六氏先生として慕われた6人の殉職教師は、戦後時の権力により奴隸化教育者として憎むべき対象とされたが、言論と表現の自由を得た民主国台湾の人々により再び教師としての名

誉を回復したのであった。

道明は日清戦争終結直後の情勢未だ定まらない台湾に、何故、教師として赴いたのであろうか。彼の美父は楫取素彦、義父は久坂玄瑞、そして叔父は吉田松陰である。道明のこの特異な出自が教育に殉じる道を選ばせたのではないか、という思いがしてならないのである。

プロフィール

1946年(昭和21年)山口県三隅町(現長門市)生まれ。  
65年東京都立九段高校卒、71年早稲田大学政経学部卒、同年株式会社博報堂入社。2004年取締役常務執行役員、10年博報堂健康保険組合理事長、11年理事長を退任し40年間の博報堂グループ勤務を終える。  
現在、菊友会(都立九段高校同窓会)理事長、錦会(博報堂グループOBの会)会長。

副代表 河村直丈さん (41歳)



なおたけ

培。父も私も、知識や技術の差があまりなかったからこそ、共に勉強し、相談をしながら農園を経営することができたように思います。

種類豊富な観光農園

現在、観光農園はシーズン真っ只中です。ぶどうは目方もぎ取り販売という形になりますが、なしとりんごは食べ放題。ゆっくりお過ごしいただきたいので、時間制限は設けていません。完熟した実を自分で収穫し、その場で食べられることから、スーパードで購入するものと甘みが違うとおっしゃっていただくことも多いです。山間高冷地で栽培していますから、昼と夜の気温差が大きいことも甘みが増す一因かもしれません。

消費者のニーズを把握する

数年後には、父から経営を譲り受ける予定で、より多くのお客様にお越しいただくためには、消費者のニーズを把握しながら、今後の方向性を決めていかなければと考えています。当園では、なしを

主体に栽培していますが、近年なしの消費量は落ちてきているのが現状です。栽培面積はそのままに、人気が高いりんごへとシフトチェンジをするのか、決断をしなければならぬと考えています。

また、最近では、皮だけでなく、果肉までも赤いりんごを植え付け、新品種にも挑戦しています。労力やコストを削減しながらも、病気を出さずに減農薬でおいしい果物を作るために試行錯誤の日々ですが、自分が考えた方法で実をつけ、実証することができたときは嬉しいですし、それが農業の面白さでもあると感じています。果物は嗜好品だからこそ、お客様のニーズを把握しながら、おいしい果物を育てていきたいと思えます。

毎年8月20日から11月下旬まで、ぶどう、梨、りんご狩りを楽しむことができます。観光農園旭サンファーム。わずか3カ月の開園期間中に約5000人が訪れ、にぎわいます。副代表の河村直丈さんにお話を伺いました。

家族で共に育て、経営する

旭サンファームは、父(河村昭正代表)が55歳の時に、勤めていた旭村役場を退職後、水田だった土地を利用して果樹を植え付けたのが始まりです。当時、大学3年生だった私は、父の希望もあり、卒業後は農園を手伝うようになりまして。

果樹は、実をつけ、収穫できる樹になるまでに時間がかかりますが、3年目に観光農園としてオープン。生産量も増えていき、現在は160アールの土地で、ぶどう7品種、なし13品種、りんご5品種を生産し、シーズン中は、近隣の道の駅や農産物直売所などでも販売を行っています。

農園を始めて20年が経ちますが、気象条件や生育状況などにより、その年々で栽培に戸惑うことも多々あります。そもそも、果樹栽培に関しては初心者でしたので

県の農業改良普及員の方に指導していただいたり、近隣の農家の方に教えていただいたりしながら栽培

リピーターも多く、中には、お弁当を持参されたり、園内のバーベキューハウスを利用されたりして、一日中のんびりと過ごされるご家族もいらつしやいます。お客様様の反応をじかに見ることができると、観光農園ならではの、特に子どもたちが笑顔で帰っていく様子を見るととても嬉しく、苦労も報われますね。

産地直送「田舎っぺくらぶ」

13年前から、関西在住者を中心に立ち上げられた「田舎っぺくらぶ」会員の方々に、当園のぶどう

- ◆ぶどう狩り(8月20日~10月上旬)  
もぎ取り販売価格/1キロ1,500円(税別)
- ◆梨狩り(8月20日~10月下旬)  
入園料/大人550円、小学生350円、3歳~小学生未満200円
- ◆りんご狩り(11月1日~11月下旬)  
大人450円、小学生350円、3歳~小学生未満200円
- ◆バーベキュー(8月下旬~11月)  
料金/1人前1,000円(長萩和牛、地元産野菜)  
※事前予約が必要です
- ◆「田舎っぺくらぶ」会員(電話で申込)  
年会費/1万8,000円  
内容/ぶどう3キロ、なし5キロ、りんご5キロ、米(コシヒカリ)10キロ

08338・56・0614  
萩市佐々並1581(道の駅あさひから車で3分)



# 株式会社レノファ山口(山口市)

代表取締役社長 河村孝たかしさん

(萩市佐々並出身、48歳)

## サッカーJ2「レノファ山口」は山口県全県がホームタウンです



昨年J3リーグ(日本プロサッカーリーグ)における3部リーグに初参入し、2節以降首位をキープし続け見事優勝。2部に昇格した今年も上位に食い込む活躍をみせるレノファ山口。株式会社レノファ山口の代表取締役社長である河村孝さんにお話を伺いました。

### 佐々並からプロサッカー選手

佐々並に生まれ、周りの皆がそうだったように小学3年時にスポ

少に入団したのが私のサッカー人生の始まりでした。高学年になるころには海外のプロサッカー選手になりたいと思うようになり、佐々並中学校サッカー部を経て、当時全国大会の常連であった山口高校に進学します。高校2年時には高校選手権でベスト8となると、当事マツダサッカークラブ(現サンフレッチェ広島)の総監督をされていた今西和男さんから「近いうちに日本もプロ化される。マツダでやらない

か？」と声を掛けられました。その時は、まだ大学へ進学することを考えていましたが、3年時に再度「間違いなくプロ化される。オフト監督(後に日本代表監督)のもと、今までの日本にないサッカーをやってみないか？」と言われ、先進国のサッカーを教えることもできることで将来につながるのではないかと考え、1987年、高校卒業と同時にマツダに入団します。

### セカンドキャリア

現役を引退したのは1995年。引退後は山口に戻り、1年間ほどプラプラと生活をしていましたが、このままではまずいなど、ダメもとでサッカークラブ、イル・レオーネ(後にレオーネ山口)を立ち上げます。設立時には萩スクールも3年間ほど開設し、萩市の皆様にも大変お世話になりました。

その後、先日のリオ・オリンピックにも出場した原川力選手や、なでしこリーグで活躍している田中陽子選手など、全国レベルでも戦える選手を育成させてもらえるようになったところには、クラブ運営も安定し、2005年にアディダスと提携しフットサル場の運営も始めます。また、山口市の南部運動公園等の指定管理を受託するなど少しずつですが事業を拡大して

きました。

### レノファ山口

レノファ山口は、山口県教員団が前身のチームで、レオーネ山口とは関係のない社会人チームでした。当事GMを務めておられてた宮成隆さんから、監督をしてくださいかとオファーをいただき、2、3カ月悩んだ末、2012年レノファ山口の監督に就任します。

監督としてレノファ山口に身を置くと、Jリーグを目指すには組織的に多くの問題があるのを感じました。特に、財務面の改善は喫緊の課題であり、翌年には、監督からGMに身を移し、マネジメントに注力しました。時を同じくして、Jリーグに3部リーグ(J3)創設が決まり、レノファ山口もJ3参入を目指し大きくかじをきることとなります。2013年には、運営母体をNPO山口アスレティック・クラブから新たに設立した株式会社レノファ山口に移管し、現在に至ります。

### スポーツ文化

2014年のJ3参入から、1年でJ2に昇格、現在J1を狙えるところに位置し、順調に成長させてもっています。まずは3年以内にJ1昇格を目指していますが、

大きなビジョンとしては地域に根付き、ディビジョン関係なしに、地域が盛り上がるコンテンツとなり、地域の皆様の生活の一部となればと思います。また、山口県を離れて生活される出身者の方にも誇りに感じていただけるクラブとなれるよう努めてまいります。レノファ山口は山口市ではなく、山口県全県をホームタウンとしており、萩市の皆様にとっても地元のチームとして応援していただければ大変ありがたいです。

株式会社レノファ山口

山口県山口市赤妻町3-5

☎083-941-6792

http://www.renofa.com/



「レノファ山口FC」の名称は、「renovation(維新)」の頭文字レノと「fight(戦う)」や「fine(元気)」のファを合わせました。

# 明治日本の産業革命遺産と萩 構成資産の紹介（5）大板山たたら製鉄遺跡

在来の製鉄技術が工業化初期の軍艦建造に活用されたことを物語る。

## 構成資産としての価値

大板山たたら製鉄遺跡は、数多い近世のたたら場のなかでも、幕末、洋式軍艦建造の鉄材を供給したことが史料で裏付けられる唯一の資産である。

「たたら」は、粘土で築いた炉の中に原料（砂鉄）と燃料（木灰）

を交互に投入し、人工的に空気を供給する「ふいご」と呼ばれる送風装置を用いて、3日3晩かけて炉内を焼き続け、砂鉄を溶かして鉄の塊を作る日本古来の製鉄技術である。江戸時代、中国地方は全国屈指の鉄生産地であり、とくに石見地方が盛んであった。

江戸時代に隆盛した在来のたたら製鉄は、西洋から高炉が導入されることよって製鉄技術の近代化が進む過程で衰退し、明治後期にはそのほとんどが姿を消した。

その過渡期において、大板山たたら製鉄遺跡は、長州藩が自力で軍備の近代化を進める過程で特異な役割を果たした。つまり、在来の製鉄技術が工業化初期の軍艦建造に活用されたことを物語っているのである。

## 江戸時代中・後期にかけて3回操業

江戸時代前期の長州藩領には、土着領民によるたたら場が存在したが、18世紀以降に石見の鉄山師によって駆逐され、石見系たたら場が開閉・隆盛したとされる。19世紀になると、長州藩では藩政改革に伴う国産政策の一環として製鉄の藩営化が進められた。中には藩営のたたら場も登場したが、藩営化は、基本的には石見系のたたら場を御国産製鉄所として指定し、鉄の生産・販売の統制を行ううとするものであった。なお、江戸時代の長州藩領におけるたたら場の遺跡は、23力所が確認されている。

こうした環境のもとに、大板山のたたら場は存在した。このたたら場は、長州藩領における石見系たたら場の典型例とみられており、かつ、領内最大規模のたたら場であった。

江戸時代、大板山のたたら場の周囲には、長州藩の御立山（藩有林）を中心とする、350町歩にも及ぶ深い山林があった。たたら場の拠点か山奥にあったのは、豊かな森林資源と河川から供給される水を必要としたからである。その背景には、石見国那賀郡（現島根県浜田市）からの砂鉄輸入を可能にした、廉価な日本海廻船の存在があった。大板山は、石見の鉄山師が豊かな炭山を求めて長州藩領にたたら場を打ち据えた結果をよく示している。

大板山におけるたたら場の操業は、宝暦期、文化・文政期、幕末期の計3回が確認されている。操業期間に数十年間もの空白があるのは、伐採された森林の回復に相応の時間がかかったからである。

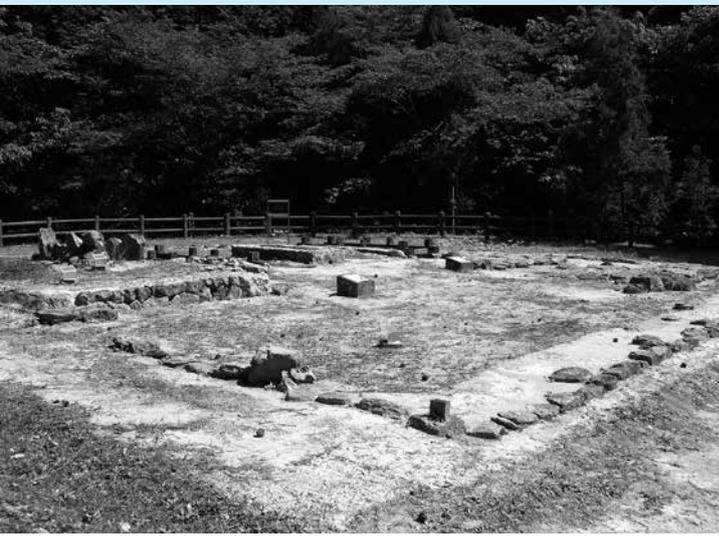
1回目は、宝暦年間（1751～1764）のうち約8年間操業された。大板山で林業経営を行っていた奥阿武幸判生雲村（現山口市）の阿川六郎兵衛が鉄山御用を思いつき、津和野藩青原村（現島根県津和野町）の紙屋伊三郎に相談して、たたら場を開設したとされる。この操業時の特徴は、経営者が長州藩領民であったにもかかわらず、技術的には津和野藩領の鉄山師に依存していたところにある。

2回目は、文化9年（1812）から文政5年（1822）までの約10年間操業されたと考えられている。経営者は津和野藩領猪俣谷鑪（現島根県津和野町）の原田勘四郎で、実質的な開設には浜田藩領鍋石村一ノ瀬（現島根県浜田市）の江尾氏が関係していたとされる。仕入元方は浜田藩領三隅湊（現浜田市）の竹屋が担った。その後、原田家の衰退に伴い、大板山のたたら場の経営は、借用方返済の代わりとしてたたら株を譲り受けた三隅湊の竹屋へ移管されたと考えられている。

なおこの時期については、原料砂鉄の搬入経路も明らかになっていない。砂鉄は、津和野藩領井野村周布地（現浜田市）の山砂鉄を買い取り、井野村から三隅湊までの約10kmの陸路を駄送、三隅湊から奈古浦（現山口県阿武町）までの海上約50kmを船送、さらに奈古浦から大板山のたたら場までの陸路約10kmを駄送していたとされる。また、生産された鉄は長割鉄と称し、奈古浦から赤間関（現下関市）の鉄問屋へ出して主に九州方面へ販売していたという。

3回目は、安政2年（1855）から慶応3年（1867）頃までの約12年間操業されたとみられている。経営者は、石見国大森大領那賀郡渡津村（現島根県江津市）の原屋（高原）竹五郎である。長州藩が軍艦丙辰丸を建造する際に鉄材が供給されたのは、この時のことである。

文久3年（1863）以降、大板山の産鉄はすべて藩が買い上げることになった。その後、慶応3年（1867）まで大板山のたたら





▷VTR映像でかつてのたたら場を再現！



▷秋市大字紫幡257-5(山の口ダム北側) 秋市内中心部から北東へ約23km、道の駅ハビネスふくえから車で約20分

ら場の操業が続けられたことは確かで、明治初年まで続けられていた可能性もある。

### 丙辰丸への鉄材の供給

長州藩が安政3年(1856)に洋式軍艦丙辰丸を建造した際に釘や碇などの製作のために、大板山のたたら場から鉄材が供給されたことは注目している。恵美須ヶ鼻の造船所には「鍛冶固屋」があり、ここで鉄材を鍛造して、さまざまな鉄製品につくり変えていたと考えられる。つまり、大板山のたたら場は、長州藩が自力で洋式船を建造するにあたって重要な役割を果たしたのである。その詳細について、以下の通り確認してみよう。

安政3年(1856)10月7日、長州藩は、スクーナー及びバツテラに使用する大・小の碇を4挺つくるため、大板山のたたら場から大割荒鉄300貫目(一束につき1本より2本、3本入りの分)を買い入れることを決定した。

同月15日、長州藩は、スクーナーの鉄具及び釘類打調として、平割荒鉄200貫目(一束につき5本入りの分)が必要のため、大板山のたたら場から買い上げるようになった。

このように、長州藩は、スクーナーの鉄具その外に用いるため、大板山のたたら場から2度にわた

たって鉄500貫目を買い上げ、荒鉄50束ずつ徐々に受け取りを済ませていた。ところが、実際に点検してみると、大割荒鉄38貫400目を超えて運び込まれていた。そこで同年11月25日、これらの超過分も藩が買い上げるようになった。

同年12月25日、長州藩は、スクーナーの鉄具その外の地金不足、支障が生じているので、平割荒鉄23束(束につき4本より5、6本入りの分)を大板山のたたら場から買い上げるようになった。

以上に加えて、大板山のたたら場は、他藩に対しても鉄材を供給している。長州藩は、丙辰丸の建造の際、三河国田原藩(現在の愛知県東部、渥美半島)の求めに応じ、視察者を受け入れた。田原藩の視察者は、大板山のたたら場で生産された鉄材の性質が非常によいことを認識し、大割鉄500貫目・小割鉄500貫目、計1000貫目の購入の仲介を長州藩に依頼した。安政4年(1857)4月、長州藩は田原藩の要望通り購入を仲介したのである。

このように、大板山たたら製鉄遺跡は、恵美須ヶ鼻造船所跡との関係が強い。だからこそ、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼造船、石炭産業」に加えられたのである。

### 現地ガイドが好評

### 福栄文化遺産活用保存会

福栄文化遺産活用保存会(会長小野興太郎)は、世界遺産の構成資産である大板山たたら製鉄遺跡のある福栄地域の住民が平成27年5月に設立、製鉄遺跡の日常管理やガイドを約80人の会員が行っています。

地域の特産品の販売、たたらまつり(6月)などイベントの開催、八十八力所霊場の整備、学校での啓蒙活動などの活動も行います。

「遺構が残るのみですが、ガイドさんの説明が分かりやすく当時の様子が想像できました」、「タブレットで再現された映像が見てたえがありました」など、地元住民によるガイドは来訪者から高い評価を受けています。



大板山たたら製鉄遺跡の来訪者へのガイドの様子

また、今では見ることができない往時の大板山製鉄遺跡の姿を、バーチャルリアリティを利用して再現した映像が楽しめるタブレットを貸し出しています。

### ■秋・世界遺産ビクターセンター 学び舎

「明治日本の産業革命遺産」を分かりやすく楽しく学べます。期間/平成29年2月12日(日)まで、年中無休

JR新山口駅から秋・明倫センター(世界遺産ビクターセンター)前を結ぶ直行バス。所要時間/1時間、1日8便(4往復)運行。

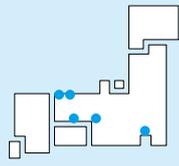
料金/大人 300円、小・中・高校生 100円  
秋・明倫センター駐車場/普通車 310円

生以下 780円  
新山口新幹線口発/9:45  
11:00 13:00 16:15  
秋明倫センター発/9:30  
11:15 14:00 16:30

■問い合わせ 秋市観光協会 (08338・25・1750)

■問い合わせ 防長交通 (08338・22・3811)

# 同窓会だより



情報  
ください  
!

「同窓会・クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料を送ります。投稿記事も歓迎します。  
hagi-network@city.hagi.lg.jp

会員投稿

6月26日 太閤園(大阪市)

やまなみ

## 関西山峡会



第28回目の総会と懇親会を迎えた「関西山峡会」(青水勉会長)は、6月26日に大阪市都島区の太閤園で開かれました。来賓と合わせて総勢59人の楽しい集いとなりました。総会は、青水会長の開会の挨拶から始まり、ご来賓の皆様からお祝いのお言葉や「2サッカー「山口レノファ」と「ふるさと納税」などの郷里のPRのお話を頂きました。

第二部懇親会は、今までとは異なる「お琴の演奏」とお琴に合わせて「花は咲く」などの曲を皆で合唱しました。カラオケ大会と抽選会で盛り上がり、最後に参加者全員で万歳三唱し来年も元気な再会を誓い合いました。

堀野克磨 (大阪府茨木市)

7月9日 ワークピア広島(広島市)

## つばき会広島支部総会



今回で8回、出席者は24人。末廣栄<sup>さかえ</sup>校長から萩商工生の全国大会での活躍ぶりが紹介されました。国際大会では、アジアカヌースラローム大会(4月)で商工3年生の岡崎<sup>はるか</sup>遥海さんがチームレースの部で見事優勝しました。

つばき会広島支部と広島指月会の合同開催について議題にあり、中原洋美<sup>ひろみ</sup>会長(商業49年卒)、事務局の土佐岡文夫さん(工業43年卒)など役員6人が広島指月会に出席しました。

会員投稿

8月8日 萩高校体育館(萩市)

## 萩高校同窓会総会八八会



第67回萩高同窓会「八・八会」テーマは「萩郷～しゅうごう～」です。萩高に集まり、故郷を見つめなおし、ともに萩を盛り上げたいという希望を込めています。しおり作成にあたり、500件の企業の皆様から広告のご協力をいただき、今年も八・八会を開催することができ、約600人の参加がありました。

今年の特色は故郷への想いを表現する書道パフォーマンスです。1.8m×3.6mの半紙に描かれていく萩郷の題字。書家である同期生(山根一生、京都在住)が山や川、日本海の豊かな自然に囲まれた萩のまちを書で表現しました。

引受期として、同郷の人々が支えてくださる温かさを感じながら、「萩」という故郷をさらに大切にしていきたいという気持ちが増しました。

引受期(第53期、平成13年卒)しおり広告委員長 山口泉

7月23日 ホテルセンチュリー21広島(広島市)

## 広島指月会総会



今年は21回、出席者は48人。初めて午後3時の開会。「出席者が50人近いのは久しぶり」と西村不可止<sup>ふがし</sup>会長(39年卒)のあいさつ。西村佳子校長からは、課題を見つけて解決していく生徒を育てることが目標。ユネスコ・スクールに申請し、世界の学校との交流を目指している、と報告がありました。

つばき会から6人の参加があり交流を図ることにより、将来の合同開催に向けて大きな一歩となりました。

会員投稿 

8月14日 陶芸の村公園・萩本陣(萩市)

## 萩高27期(昭和50年卒)還暦同窓会



還暦のお祝として、今年2月雨天の中、「融和・共存・知友・漸進・矜持」の文字をプレートに刻み、陶芸の村公園に同窓生16人で桜(ソメイヨシノ5本)を植樹しました。

同窓会当日は桜と記念撮影を行い、同窓生351人中出席した111人による懇親会は八八会引受期(平成2年)以来の人も多く、学生時代の懐かしい写真や恩師のビデオレター等を視聴しながらの時間はあっという間に過ぎ、再会を約束して会を閉じました。

協力・出席されたみなさんのおかげで盛会となりました。

代表 池本金司・草野琴江

8月10日 大谷山荘(長門市)

## 萩光塩学院同窓会総会



小・中・高校の合同同窓会になって7回目、約70人が出席。先生方をはじめ最近高校卒業の男子グループの姿も。昨年やすみちの萩会場と交代で、今年は長門市での開催。中村柔道校長からは、学院のシンボルとして惜しむ声がある中、円型校舎建替えの経過説明があり、校舎解体の時期が夏から秋に延期されたとの報告がありました。懇親会のお楽しみ抽選会では、現金つかみ取りに当選した数人の方に大きい歓声が上がりました。

会員投稿 

7月7日 萩本陣(萩市)

## 指月中15期(昭和37年卒)同窓会



昭和37年3月に指月中を卒業して55年、古希を迎える今年、初めての同窓会を開催しました。7月7日の七夕の日に、全国各地から77人の同級生が集い、ラッキー7の数字の続く古希同窓会は大盛況でした。

この日のために県外から帰省された方は30人を数え、古希同窓会の開催を心待ちにされていたことがよく窺えました。

発起人代表 永田誠(萩市樽屋町)

会員投稿 

7月17日 (東京都・新宿)

## 萩高32期(昭和55年卒) 東京地区同期会



毎年初夏に開催している同期会に8人集まり、お互いの近況を報告しながら、楽しいひと時を過ごしました。

今年は例年と比べ少人数でしたので、来年は秋の連休に開催する予定です。

山根修二(神奈川県厚木市)

# 情報アラカルト

## 関東地区

### ■秋在京高校同窓会

4年に1度の東京指月会、つばき会、関東支部、光塩学院（光友会）の合同同窓会。  
10月22日（土）午後2時30分～  
東京都千代田区丸の内（東京駅丸の内北口）  
日本工業倶楽部  
指月会（09007264・6954）三浦  
つばき会（033373・4020）野村  
光塩学院（09004077・9490）安藤

### ■東京須佐弥富会

関東地区の須佐地域同郷会。  
11月12日（土）正午～午後3時  
東京都港区高輪（品川駅高輪口）  
日立金属 高輪和彊館  
（09002208・5873）勝山

■「革新の工芸―伝統と前衛」、そして現代―  
伝統と前衛を基軸とした日本工芸の流れを主旨とした展覧会を、三輪和彦の花器が展示されます。  
9月17日（土）～12月4日（日）  
東京都千代田区北の丸公園1・1  
東京国立近代美術館 工芸館  
（0335777・8600）

■「コシノヒロコ×納富晋×HAJIMARIIの青」  
服飾デザイナーのコシノヒロコと納富晋のコラボレーション。10月3日の午後5時からレセプションパーティーが行われます。  
9月30日（金）～10月23日（日）  
午前10時30分～午後7時  
東京都中央区銀座4・3・13和光並木ビルB1F  
KHギャラリー銀座  
（0351599・6877）

■秋の陶芸三人展  
玉村信一、岡田泰、小川浩延（長門市）の作品が展示されます。  
10月6日（木）～12日（水）  
東京都文京区関口2・10・8  
椿山荘東京3階アートギャラリー  
（0339431111）

■柳井嗣雄展―西の川から―  
秋市出身の和紙造形・美術家の柳井嗣雄（埼玉県）の個展です。  
10月19日（水）～31日（月）午前11時～午後6時30分（日曜日休廊）  
東京都港区六本木5・10・33  
ストライプハウスギャラリーM・Bフロア  
（0334058108）

■秋・世田谷幕末維新祭り「秋観光物産展」  
秋市から、秋焼、地酒、海産物、夏みかん菓子等が販売されます。

10月22日（土）～23日（日）午前10時～午後6時（23日は午後5時30分まで）  
東京都世田谷区若林（東急世田谷線「松陰神社駅」下車）  
松陰神社境内入口横公園  
（問）秋商工会議所  
（08388253333）

## 北陸地区

■水津和之陶芸展  
10月19日（水）～25日（火）  
富山市総曲輪3・8・6  
富山大和5階コミュニティギャラリー  
（0764241111）

## 東海地区

■「ふりそでく白の世界」岐阜県美術館×現代陶芸美術館コレクシオン展―  
白の造形に焦点を当てた展覧会  
三輪和彦の花器が展示されます。  
9月3日（土）～12月18日（日）  
岐阜県多治見市東町4・2・5  
岐阜県現代陶芸美術館ギャラリーII  
（0572283100）

## 関西地区

### ■秋同郷会（関西）

4年に1度の関西在住の秋出身者の同郷会。  
11月27日（日）正午～午後3時  
大阪府中央区天満橋京町（地下鉄天満橋駅）  
大阪キャッスルホテル 3階錦城

## 第17回 維新の里 萩城下町マラソン

萩―福岡空港 直行の乗り合いタクシーが運行開始  
前日までの予約制で1日2便、自宅または宿泊先まで迎え。  
所要時間／2時間40分  
料金／6500円（10日前の早割5000円）  
萩市内発／午前6時50分、午後2時20分  
福岡空港発／午前10時10分、午後5時30分  
萩近鉄タクシー  
（08388220924）

申込締切は9月30日（金）  
12月11日（日）午前10時～、発着点は萩市椿の萩ウェルネスパーク。高校生以上一般のコースはハーフマラソンと10キロ、参加料は一般3500円。  
大会ホームページから申し込み  
今回から、全日本ハーフマラソンランキングの対象大会。  
（問）実行委員会事務局  
（08388257311）

## 中国地区

■水津和之陶展  
9月28日（水）～10月4日（火）  
広島市中区胡町5・1  
広島二越7階美術館廊  
（0822423111）

■「十二代三輪休雪展―祈り花よ咲け―」  
10月12日（水）～18日（火）  
岡山市北区表町2・1・1  
岡山天満屋5階美術館廊小画廊併催（0862317111）

■「十二代三輪休雪展―祈り花よ咲け―」  
11月9日（水）～14日（月）  
広島市中区胡町5・22  
天満屋広島八丁堀ビル7階美術館廊（0822465111）

■線描画家田村覚志個展  
9月17日（土）～25日（日）  
京都市中京区寺町通夷川上ル西側久遠院前町671・1寺町エースビル1F西  
Gallery1（ギャラリーアイ）  
（07520003655）

## 九州地区

### 九州指月会・つばき会九州支部

九州地区の秋高と秋商工の合同同窓会。赤松文雄（北九州生涯学習講師）の講演「笑いは「ミニコミュニケーションの潤滑油」があります。9月10日（土）午前11時、福岡市博多区博多駅（筑紫口すぐ）ホテルセントラーザ博多

指月会（093・201・6303）  
廣瀬

つばき会（090・5744・0316）上村

## 山口県関係

### 山口指月会

## 新規(再)加入会員

- 川尻理彩 (東京都青梅市) (秋市)
  - 藤枝ちづ子 (秋市)
  - 早川康司 (広島県広島市)
  - 大谷精治 (広島県広島市)
  - 沖田啓子 (広島県広島市)
  - 弘中敏夫 (広島県府中町)
  - 柴田貞夫 (広島県広島市)
  - 小田紘史 (千葉県船橋市)
  - 國森章子 (秋市)
  - 右田美知子 (北海道石狩市)
  - 柴田良次 (広島県広島市)
  - 柳川均 (広島県広島市)
  - 渡邊泰夫 (広島県大竹市)
  - 河内山晶子 (東京都文京区)
  - 土田芳樹 (東京都国立市)
- (6月27日～8月26日 15人)

山口地区の秋高同窓会。

10月18日（火）午後6時30分  
山口市湯田温泉 翠山荘  
(083・933・4015) 中原

## 秋市関係

■秋商工高等学校同窓会つばき会  
秋商工高つばき会の本部総会。

10月8日（土）午後6時  
会費3000円（弁当代、福引代含む）  
萩市平安古町544 萩商工高等学校 体育館

(0838・222・0034) 小田  
■萩市美術展特別展「大和義勇展」  
萩市出身で洋画家の大和義勇画伯の特別展を開催します。

9月15日（木）～19日（月・祝）  
午前10時～午後6時（最終日は午後4時）  
萩市江向495・4  
萩市民館小ホール

(問) 萩市文化・生涯学習課  
(0838・255・3590)

■萩美術館・浦上記念館 HAGO  
NEW GENERATION 陶「線と意匠」

岡田泰、渋谷英一（秋市）、坂倉善右衛門、田原素雄（長門市）の新作の4人展です。

9月17日（土）～10月10日（月・祝）  
午前9時～午後5時  
萩市平安古町586・1  
陶芸館多目的室

(0838・244・2400)

(0838・244・2400)

■彩陶庵 HAGI NEW GENERATION 陶「輪郭線と境界線」

岡田泰、坂倉善右衛門、渋谷英一、田原素雄、萩の同世代4人の作家の約80点の新作を展示販売。

9月24日（土）～10月2日（日）  
午前10時～午後6時（最終日は午後5時まで）  
萩市呉服町1・3 彩陶庵

(0838・255・3110)

■ヴィレッジ「山中千尋トリオ」  
ニューヨークを拠点に、世界の舞台で精力的に演奏活動を続けるジャズ・ピアニスト山中千尋と

島山令（ベース）、則武諒（ドラム）の3年振りのトリオコンサート。

10月29日（土）午後6時～午後8時（入替）  
8000円（各セット）  
萩市土原291・1  
喫茶ウィッツ

(0838・255・6596)

## 出版情報

■山口県ゆかりのお店ガイドブック 関西版

大阪、京都府、兵庫、奈良県にある山口ゆかりの飲食店など56店舗を紹介する無料のガイドブック。

首都圏版は2011年から毎年発行、現在第5弾。いずれも山口県のホームページから掲載店舗を見ることが出来ます。

A6版カラー、72ページ  
山口県大阪営業本部

(06・6341・0755)

■萩ものしりブック（改訂版）

子どもたちが「ふるさと萩」の歴史や文化、自然を楽しく学べるクイズ形式、新しい問題も加え120問を掲載。

萩まちづくり博物館出版委員会  
(0838・255・3290)

★3名様にプレゼント



B5版、77ページ  
500円（税込）

■「楳取素彦と功德碑」前橋字ブックレットA

手島仁（前橋市文化スポーツ観光部参事）  
楳取を顕彰する碑に刻まれた発起人、寄付者を調べ、名実とて慕われた楳取の実像などを明らかにする。

A5版 72ページ  
600円（税別）  
上毛新聞社  
(027・254・9966)

## テレビ情報

■新にほん風景遺産「幕末の風雲児 サムライ高杉晋作」

没後150年を迎えた晋作ゆかりの山口県を訪れ、なぜ長州は維新胎動の地なのかをめぐる旅

9月13日（火）午後9時～9時54分

分

BS朝日

■「つぼん縦断こころ旅 2016秋」

火野正平が訪ねる忘れられない景色、大切な人との出会いの場所など。山口県内は11月7日から放送予定。

11月7日（月）～11日（金）午前7時45分～午後7時  
NHKBSプレミアム

## プレゼント

①旭サンファーム提供梨セット」を2名様

②「萩ものしりブック（改訂版）」を3名様

■応募方法 ハガキに品名、住所氏名、電話番号、近況等を明記のうえ、萩ネットワーク協会のプレゼント係まで。9月20日（消印有効）。

## 編集後記

7月は広島同窓会に出席。今年には特に欧米人が目立つ原爆トーム、平和記念資料館を再訪。広島は尊敬すべき街。オバマ大統領が語った「核兵器のない世界」はいつ来るのか。54年前すでにポップ・デイルは歌っている。「どれだけの砲弾が撃たれたら、戦争はなくなるのだらう。その答は風に吹かれている、風の中に舞っている。」（広報特別参与 山本）

## ふるさと情報紙「萩ネットワーク」

萩ネットワーク協会 ☎0838・25・3178

全国のネットワーク会員に、年6回隔月で郵送  
発行月 1・3・5・7・9・11月号  
(1994年10月創刊)  
会費 一般2,000円、特別賛助10,000円  
会員数 1,700人

## イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838・25・1750

10月1日(土)～23日(日) 10:00～17:00

### ◇着物ウィーク in 萩

萩城下町周辺ほか市内各所(総合案内/日久保田家住宅)

10月7日(金)～9日(日)、15日(土)～16日(日)  
22日(土)～23日(日) 18:00～21:00

### ◇萩・竹灯路物語 萩城下町周辺、萩博物館周辺

10月7日(金)～10日(月・祝) 10:00～18:00

### ◇萩・田町萩焼まつり 田町商店街アーケード

10月9日(日) 9:30～ 萩地方卸売市場  
◇萩・魚まつり 道の駅・萩しーまーと

11月13日(日) 8:00～

### ◇萩時代まつり

萩城下町ほか市内各所(メインステージは中央公園)



世界遺産のまちなみを着物でそぞろ歩き

## 着物ウィーク in 萩

情緒あふれる城下町を着物姿で歩きま  
せんか。着物レンタル、和小物づくり体験、  
写真のプレゼントなど。

(問) 萩市観光協会 (0838・25・1750)

世界遺産のまちなみを竹灯籠がほのかに照らす

## 萩・竹灯路物語



約4000本の竹灯が夜の城  
下町を幻想的に照らし出しま  
す。

(問) 萩市観光課  
(0838・25・3139)

## 山口県立萩美術館・浦上記念館だより

☎0838・24・2400

### 浦上コレクションの至宝が一堂に

開館20周年記念特別企画展Ⅰ

### やきものでわくわく 浮世絵にうきうき 一館蔵名品展

9月10日(土)～10月16日(日)

萩美術館・浦上記念館は、萩市出身で萩市名誉市民でもある  
浦上敏朗氏が、東洋陶磁や浮世絵を中心とする美術品を山口県  
に寄贈されたことを契機に、1996年(平成8)10月に開館し、  
今年で開館20周年を迎えます。

葛飾北斎の「富嶽三十六景」、歌川広重の「東海道五十三次」、  
東洲斎写楽、喜多川歌麿など浮世絵の名品、朝鮮陶磁の名品な  
ど、東洋陶磁と浮世絵から選りすぐった名品192点を紹介し  
ます。

■観覧料 一般1,000円、70歳以上の方・学生800円

■休館日 10月3日(月)

うきうき大好き、富士山



葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」 喜多川歌麿「難波屋おきた」



お江戸の美少女アイドル

開館20周年記念特別企画展Ⅱ

### 「すみすり 赤間硯の造形」

10月18日(火)～17年1月15日(日)



一大歴史絵巻が繰り広げられます

## 萩時代まつり

「平安古備組」と「古萩町大  
名行列」を合わせて総勢200  
人を超える行列が市内を練り歩  
きます。

(問) 萩市観光課  
(0838・25・3139)

400年の伝統を誇る萩焼の大即売会

## 萩・田町萩焼まつり

田町商店街で秋に開催される萩  
焼即売会。

(問) 田町商店街振興組合連合会  
(0838・26・2201)



## 萩博物館だより

☎0838・25・6447

### 夏企画展、今年は9月シルバー ウィークまで



衝撃!ビッグアニマル大接近  
～地球をゆるがす巨大生物たち  
9月25日(日)まで

### 秋企画展

## 江戸時代の科学と技術 一天文・医学・機巧

10月8日(土)～12月4日(日)

■観覧料 大人510円、高・大学生310円、小・中学  
生100円

■休館日 9月30日(金)